

1. 科目名 (単位数)	教師論 (初等) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE1102
2. 授業担当教員	後藤 泰博		
4. 授業形態	講義、事例研究 (グループワーク)、演習 (論作文)、発表	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	今日の学校教育が抱える様々な課題を解決する上で、その主たる担い手である教員の役割や責任は極めて大きい。これからの教員は、教科・科目に関する知識を教授するだけでなく、広い視野に立ち、思いやりのある人間性豊かな子どもたちを育成することが求められている。現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。		
8. 学習目標	1. 我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解し、説明が出来るようになる。 2. 教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解し、態度化できる。 3. 教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解し、説明できる。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	① 宿題として、次回の授業内容に関連する用語調べを求めることもある。 ② 「私の目指す教師像」という内容の課題レポートを求める。成績評価の対象となるため必ず最後の授業までに提出すること。なお次の点に注意すること。 ・字数は 800~1000 字とする。一般的な内容ではなく、自分が教師になるという想定で具体的に記述すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 金龍哲、深沢和彦編『教師の仕事』三恵社、2024 年 3 月 (出版予定) 【参考書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社。 【教材】 必要に応じて授業内で配布する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 教職の意義や教員の役割・職務内容に関心を持ち、教員に求められる資質・能力、教育を支える法律上の規定などを理解し、説明ができる。 ○評定の方法 ・学習記録・演習課題 60%、レポート 20%、受講態度 20%とする。		
12. 受講生へのメッセージ	1) 授業は、発表や議論など学生が中心となって進めていきます。ぜひ積極的に取り組んでください。 2) 教科書の内容を分担発表するので、教科書は必ず購入してください。 3) 授業中の迷惑行為 (私語など)、飲食、携帯電話の使用などは禁止します。 4) 適切な理由のない遅刻や早退のないように努めてください。また、授業中の許可のない教室の出入りは認めません。		
13. オフィスアワー	初回講義で告知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (シラバスの確認) 制度としての教師の歴史	事前学習	教職を目指したきっかけや理由と過去にお世話になった教員のイメージと心に残る教員の姿について整理しておく。
		事後学習	過去の経験から教員の職務を整理し、自分は何のような教員になりたいかを話し合いを参考にまとめてみる。
第 2 回	学習者中心の授業を創る 学習者中心の授業は、児童・生徒の主体性を尊重し、自己評価や自己効力感を向上させ、積極的な学びの姿勢を醸成し、生きる力を身につけることを目指している。また、ICT の活用との組み合わせで、個に応じたより効果的な学習環境を創出することが期待される。	事前学習	「学習者中心の授業」と反対の意味の授業は、「教師主導型の授業」の違いについて調べておく。
		事後学習	「学習の個性化」「指導の個別化」「公教育の目的」などの用語の意味についてまとめておく。
第 3 回	全体の奉仕者としての教師 いつの時代にも教員に求められる資質・能力は高い要求がされていることを資料の読み取りを通して確認するとともに、なぜ高い要求がされているのかグループで考え、発表する。また、教員の仕事と他の職業の違いについて比較し、教員の仕事の特徴を知る。	事前学習	教員の職務は各種の法規で規定されていることを理解し、職務遂行を行うこと、教諭の職務も規定されていることを理解し、教諭の役割について自分の意見をまとめる。
		事後学習	教員の仕事は、未来を担う子供たちを育成する教育を担う重要な仕事であることから、資質能力や資格が定められていることをまとめる。
第 4 回	特別活動における教師の役割 特別活動における教師の役割は、生徒の自主性を尊重し、自己決定能力を育成することである。また、生徒の個性を発見し、客観的に理解するとともに、生徒自らが自分の個性を発見し、理解し、伸長できるよう指導、支援をしていかなければならない。	事前学習	特別活動の目的について調べておく。
		事後学習	特別活動の各内容の特質に応じて、教師間の望ましい指導の組織と役割の分担を明確にし、指導計画の作成・実施の過程を重視して、協力体制の確立を図っていくことを理解する。
第 5 回	養護教諭の仕事・学校における性教育の現状と課題 養護教諭の仕事内容について概観するとともに、必ず行わなければならない性教育の授業についても具体的に考えていく。	事前学習	養護教諭の仕事や性教育の現状について調べておく。
		事後学習	養護教諭の現状と課題について理解するとともに、性教育の現状についても考える。
第 6 回	インクルーシブ教育と教師 インクルーシブ教育とは、国籍や人種、言語、性差、経済状況、宗教、障害のあるなしにかかわらず、すべての子どもが共に学び合う教育	事前学習	インクルーシブ教育について調べておく。
		事後学習	教育支援員の配置や合理的配慮が必要であり、生徒の自主性を尊重し、自己決定能力を育成することが求め

	のことである。		られていることを理解する。
第7回	教育課程の編成とカリキュラムマネジメント 学級担任の職務には、学習指導や生徒指導など多くの仕事があることを、学級経営案を基に調べ、どのような姿勢で職務に取り組むことが大切か話し合い、まとめを発表し合う。	事前学習	学校の仕事は教育課程の実施に示されていることを、教育課程の資料から読み取る。「児童の教育をつかさどる」の内容について、資料を調べ、概要をとらえておく。
		事後学習	学級経営案を基に、学級担任の指導の内容の概略をつかみ、まとめる。学級を運営するための教員の姿勢について自分の考えを整理する。
第8回	グローバル化する学校における道徳教育 道徳教育とは、児童生徒が、生命を大切に する心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を身に付けることが目的であるが、多様な価値観をもつ児童生徒に対してどのような授業が典型できるのかを考える。	事前学習	道徳教育について学習指導要領をよく読んでおく。
		事後学習	一定の価値観を押し付けるのではなく、多様な価値観がある中で、それぞれの価値観を尊重した道徳教育を実践するにはどうすればよいのかを考える。
第9回	数字から見る教師の素顔 学校でも働き方改革が叫ばれている今日、学校が教育成果を創出するためには、組織の一員として教育課題に取り組むが求められていることについて調べ、教員としてどのような態度形成が望まれるかについて話し合い、考えを発表する。	事前学習	教師の職場環境について調べておく。
		事後学習	学校における働き方改革の行政の工夫や、学校現場での努力を理解し、教職への意欲を高める
第10回	学級経営 児童が楽しく生き生きと学校生活できるためには、支持的風土作りが重要である事を調べ、担任としてどのように学級経営に取り組むことが望ましいのか話し合い、発表し合う。	事前学習	学級経営について調べ、豊かな学校生活にとって支持的風土を作る教師の働き的重要性について知識を持っておく。
		事後学習	児童に意欲を持たせたり達成感をもたせたりし、自信を持って生活できるよう個に応じた指導や集団の指導の大切さについてまとめる。
第11回	学び続ける教師—教員研修制度 教員が学び続けることができるための研修の権利と義務が与えられていることを調べ、その制度を有効に使用して自らの資質・能力の向上を目指す努力をどのように進めるかについて話し合い、発表し合う。	事前学習	教員の資質の向上に向けて、教員を育成する仕組みがあることについて資料を基に、調べておく。
		事後学習	教員研修について調べたこと、資質向上の機会があり有効に活用するための方策について、話し合いを基にまとめる。
第12回	学校歳時記—教師の一日、教師の一年 学校生活の実際 学校は、児童の健全な育成のために、家庭・地域・関係諸機関とどのように連携していけばよいのかについて、調べ、まとめる。	事前学習	開かれた教育課程について調べ、学校はどのような姿勢で取り組めばよいのかについて考えておく。
		事後学習	コミュニティスクール等が実施されている実際の状況と学校と家庭・地域・関係諸機関との連携の重要性についてまとめる。
第13回	生徒指導の基本原則と仕組み・生徒指導の実践と課題 豊かな心を育むための教師の役割を調べ、豊かな心を育むために教員はどのような努力をする必要があるのか考え、発表し合う。	事前学習	生徒指導とは、どのような児童生徒を対象としているのか、生徒指導提要进行を読んでおく。
		事後学習	新しい生徒指導の考え方について要点をまとめ、考えをもつ。
第14回	研究者としての教師 「研究者としての教師」は、自らの教育実践を通じて教育方法の開発や教育内容の質の向上を目指すとともに、研究者との連携も図り、よりよい教育実践に関わる研究を推進しなければならないことについて話し合う。	事前学習	新しい教師像について事前に調べておく。
		事後学習	研究者としての教師像に対する自分自身の考えを持ち、そのために必要な資質について考える。
第15回	18. 専門職としての教師—現状と課題 これまでの学習を振り返りまとめ、今後の進路選択に当たり、大学生活をどのように送っていくのかについて話し合い、発表する。	事前学習	教員免許法や教育学部のカリキュラム、都道府県の教員採用選考の資料に目を通して、自分の進路を考えておく。
		事後学習	授業全体をふり返り、教育者にふさわしい資質能力を高めるために自分に必要なことが何かを考え、レポートをまとめる。